

文献

山本 智恵, 野口 眞弓. 乳頭マッサージが産褥 1-4 日目の乳頭亀裂の予防に及ぼす効果の検討. *日本助産学会誌*. 2015; 28(3): 397. 医中誌 web ID 2015208877

1. 目的

乳頭マッサージが産褥 1-4 日目の乳頭亀裂の予防に及ぼす効果を検討する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験

3. セッティング

記載なし

4. 参加者

経膈分娩後の母子分離の無い褥婦 70 人

5. 介入

Arm 1: 乳頭マッサージ群 36 人

Arm 2: ポジショニング支援群 34 人

6. 主なアウトカム評価項目

乳頭亀裂の有無、伸展性、痛み、哺乳回数、児の覚醒状態、哺乳行動 (BBA ツール)、
ポジショニング

7. 主な結果

ロジスティック回帰分析の結果、乳頭マッサージ群の右乳頭の「亀裂なし」はポジショニング支援群の 20.7 倍、左乳頭の「亀裂なし」は 8.3 倍であった。BBA ツール合計得点が 23 点以上の場合、右乳頭の亀裂なしが優位に多かった。乳頭マッサージを実施し、哺乳行動が良好であり、かつ 1 日の哺乳回数が 7 回以上であると「乳頭亀裂なし」を増やした。左乳頭亀裂は乳頭マッサージの有無のみが影響していた。

8. 結論

乳頭マッサージは乳頭亀裂を予防するが、児の哺乳行動や哺乳回数も影響していた。乳頭マッサージの手技を支援するほか、哺乳行動が適切であるかの観察と 1 日 7 回以上の授乳が必要である。

9. 論文中の安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

乳頭マッサージの効果について乳頭亀裂の予防を目的に検討された貴重な報告である。乳頭マッサージ群は、ポジショニング支援群と比較して有意に乳頭亀裂を予防している。また、乳頭マッサージ以外の要因も検討されていることは臨床的に有益である。一方、左右の乳頭で亀裂なしに影響を与える要因が異なっていたことへの考察がなく、乳頭マッサージ群のセルフマッサージの実施状況については抄録内では明らかとされていない。今回の結果を踏まえ、今後の研究に期待したい。

11. Abstractor and date

成島朋美 2021. 11. 25